

低身長について

Q1 いつ受診すればいいのか？

一人ひとりの子どもの身長が、同じ年齢の子どもと比べてどれくらい高いか、低いかを、平均値からSDの何倍離れているかによってあらわす方法がSDスコアです。下の表は-2SDの身長を示したのですが、それを下回っている場合や、同級生とくらべて極端に小さい場合には受診されるとよいでしょう。小学校低学年までの受診をお勧めします。理由はそのころまでに治療を開始しなければ平均身長まで届かないことが多いからです。

低身長の目安表

年齢	男児 (cm)	女児 (cm)
2歳	79.4	78.4
2歳半	83.1	82.1
3歳	86.4	85.5
3歳半	89.5	88.8
4歳	92.5	91.9
4歳半	95.3	94.8
5歳	98.1	97.7
5歳半	100.9	100.6
6歳	103.8	103.4
6歳半	106.8	106.1
7歳	109.5	108.8
7歳半	112.2	111.4
8歳	114.7	113.9
8歳半	117.2	116.4
9歳	119.7	118.8
9歳半	122.1	121.2
10歳	124.5	123.9
10歳半	126.8	126.7
11歳	128.9	130.2
11歳半	131.0	133.8
12歳	133.9	137.0
12歳半	136.8	140.2
13歳	140.7	142.3
13歳半	144.6	144.3
14歳	148.6	145.3

低身長の目安表(-2SD以下)

Q2 検査はどんなことをするの？

身長、体重の経過をチェックした上で血液検査やレントゲンにて骨年齢を判定します。疑いが強ければ薬を投与してそれに反応した GH の分泌量を血液検査でチェックする「成長ホルモン分泌負荷試験」を行います。通常は数日間の入院が必要です。

Q3 治療について

「GH 分泌不全性低身長症」と診断されれば、GH をお薬として定期的に（1週間に5～7日）御家庭で注射することで身長の伸びが期待できます。治療には健康保険が使える、さらに身長が $-2.5SD$ 以下の方は小児慢性特定疾患の助成もあります。

また、「SGA 低身長症」の治療に関してもこども医療費助成が中学生まで適応されるようになりました。

当院は医師・看護師がチームとなり、ご家庭で安全・安心に注射が行なえるようサポートさせていただきます。注射開始時には看護師が注射の方法を説明し、デモ機を使って一緒に練習します。実際に注射が行なえるようになった後、家庭での注射が開始となります。開始時と次回受診時には看護師との面談時間を設けており、注射手技の確認やご質問をお伺いしています。